

令和7年度（2025年度）事業報告書

特定非営利活動法人山存

2026年5月23日

1. 活動の成果

本法人は年度途中に設立され、正味半年であったが、主な活動時期が冬季であり、計画した活動はほぼ達成することができた。

法人化を機会に、特に安全面で注意を払った。山林用安全靴、ヘルメット、また、必要に応じて防護ズボン（あるいはチャップス）やイヤーマフの着用は徹底できた。安全に関する会員の関心は高まり、会員の一人は、特別教育「チェーンソー（伐木等）」を受講・修了し、また、数名の会員は猪名川町主催の「里山再生活動人材育成事業」に自主的に参加した。

また、広く当法人の活動を知っていただくために、ホームページを作成・公開した

(<https://forest-yama-zon.jp/>)。

2. 実施した事業の内容

(1) 森林整備事業

および

(2) 伐採材の利活用事業

2026年1月から3月末まで、猪名川町笹尾の山林にて、作業を行った。

作業は、1月11日から3月末までの土曜日、日曜日、および祝祭日で、2名以上が参加可能な日に行った。作業時間は10時から概ね15時まで（昼食&休憩12:00～13:00）である。

実施日と参加者数は下記のとおり17回で、延べ112名の参加であった。

1/11(日):10名、2/1(日):12名、2/7(土):2名、2/8(日):3名、
2/11(水):4名、2/14(土):4名、2/15(日):10名、2/22(土):2名、
2/23(日):2名、2/23(月):11名、2/28(土):3名、3/1(日):10名、
3/8(日):11名、3/14(土):3名、3/15(日):8名、3/22(日):9名、
3/29(日):10名

(1) 森林整備事業 に関しては、山林にて伐採を行い、枝払い、玉切りの後、搬出した。伐採は山林の再生を考慮した高切りである。作業の様子を写真で示す。



ロープ掛け



伐採（伐採は萌芽を期して高切りを行っている）



倒木



枝払い



玉切り



高切りした木には、翌年、切り口から新芽が発生

(2) 伐採材の利活用事業 に関しては、猪名川町笹尾地区の砂防ダム建設予定地の伐採済みの木の処理を行った。

搬出した丸太を割り、乾燥させて薪にする作業は、会員各自が自宅で行っている。



伐採済みの木の玉切り

(3) 森林整備・利活用における技術の開発および普及事業

① 燃焼中重なった薪の内部に空気を通す器具を考案・試作した。

② 薪ストーブの使い方に関して勉強会を行った。

(設立記念集会において、事務局から提出されたメモをもとに意見交換した。)

(4) 里山の自然環境に関する啓蒙・啓発・学習活動

「いながわ桜まつり」での出展を計画していたが、開催時期が 4 月になったこと、および、参加形態が変更になり所要費用がかさむので、参加を見送った。

(5) その他

① 設立記念集会(2025年11月21日)

法人化を機会に会員が集まり、活動形態は変わらず従来と同じであるが、社会の一員として、安全等については従来に増して十分注意することを確認した。

また、この機会にストーブの使用法に関して、意見交換を行った。

② 作業予定現場視察(2025年12月14日)

2025年度のメインの活動が1月から始まるのに先立って、作業予定場所の確認を行うと共に活動の予定を打ち合わせた。伐採等の作業は1月11日から3月末までの土曜日、日曜日、および祝祭日に行うこと、作業開始は10時からと決定した。

③ 懇親会(2025年12月14日)

作業予定現場視察の後、会員間の親睦を図ると共に、情報交換を行った。

3. 運営体制

(1) 会議に関する事項

通常総会

開催日時	2026年5月30日 18:00~18:30
開催場所	笹尾公民館
出席者	18名(うち2名は委任状)
議事内容	7年度の事業報告並びに会計報告の承認 8年度の事業計画案並びに予算の承認

(2) 事務局体制

事務局長:実森 事務局スタッフ:なし

(3) 会員数

正会員:24名

賛助会員:0名 (2026年3月31日現在)

以上